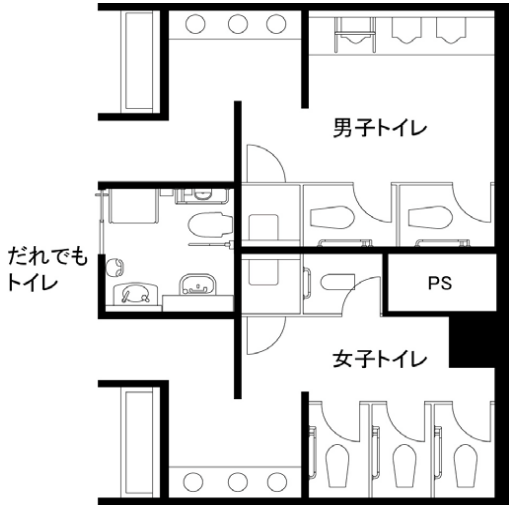


外観



左側：災害時に避難施設として活用できる体育館。
右側：校舎の屋上には太陽光パネルを設置。

トイレ図面

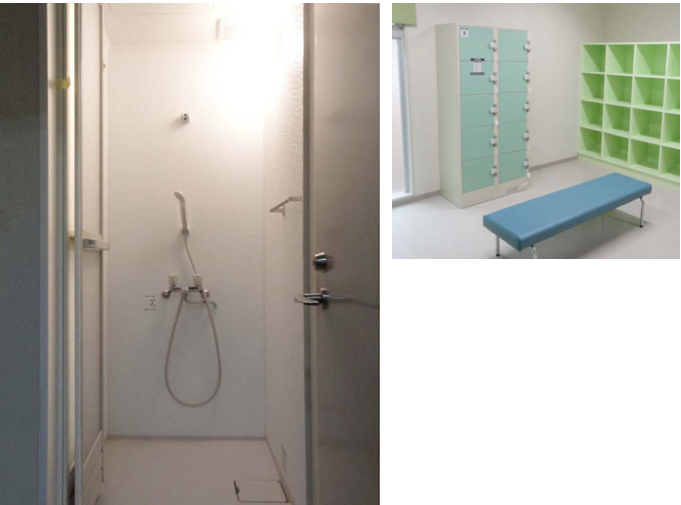


男性トイレ 小便器コーナー



足下の床の清掃性に優れた壁掛式の低リップタイプの小便器を採用。

更衣室



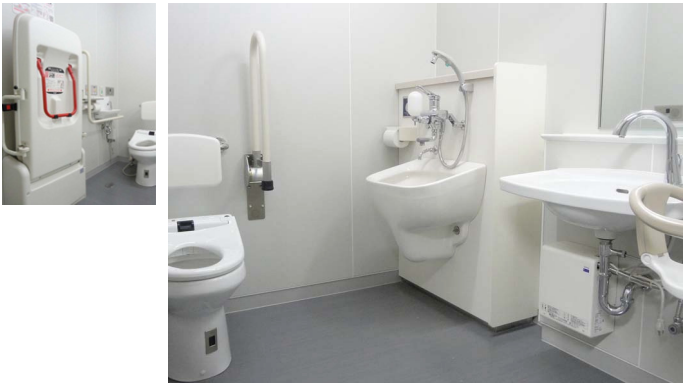
地域の方に体育館を週に3日開放。
更衣室にはロッカーのほか、シャワールームを1ヶ所設置している。

トイレ入口



1F体育館横のトイレは男女トイレがひと目でわかるように、白を基調とした空間に青と赤で男女トイレサインを表示。男女トイレの間に、多機能トイレを設置している。

多機能トイレ



さまざまな身体状況の方の利用を想定し、オストメイト対応トイレバックやベビーチェア、多目的シートなどを完備している。

防災対応



屋上プールの水は、災害時に消防用やマンホールトイレ（10基）の排水として活用。また6000食分の食料と蓄電装置を保管できる備蓄倉庫を備え、校庭には、かまどとして利用できる“かまどベンチ”も設置。

環境配慮



風力・太陽光発電設備を設け、発電した電力を教室の蛍光灯などに使用。また、雨水は植栽やトイレの洗浄水として再利用している。そのほか校舎東側には縦型ルーバーを設置し、夏の朝日を遮っている。

洗面コーナー



トイレのインテリアは、白を基調とした明るく清潔感のあるデザイン。洗面器の水栓には、非接触で節水性に優れたアクアオート（自動水栓）を採用。

大便器ブース



家庭環境に合わせてほとんどの大便器ブースに洋式便器を採用。また、すべての大便器ブースには手すりを設置。さまざまな方が利用されている体育館横のトイレには、ウォシュレットを設置している（写真左）。

建築概要

名称	東京都北区立明桜中学校
所在地	東京都北区王子6丁目
施主	東京都北区
設計	株式会社桂設計
施工	(建築工事) 岩本・藪崎・共和建設共同企業体 (電気設備工事) ワーデン・花形建設共同企業体 (給排水衛生設備工事) アネス・長谷川建設共同企業体 (空調・ガス設備工事) 石井・山本建設共同企業体 (昇降機設置工事) 中央エレベーター工業株式会社 (グラウンド整備工事) 株式会社ニューテック康和 (太陽光発電設備工事) 株式会社ワーデン
竣工年月	2011年3月

水まわりの特長

<新築の経緯>
東京都北区の学校適正配置計画により、豊島・清至・豊島北中学校の3校が統合され、明桜中学校として、旧豊島中学校の跡地に新しく開設した。建設にあたっては、周辺環境に配慮してだれもが利用しやすく、地域のさまざまな方々が出会える空間づくりを心掛けるとともに、防災拠点としての機能を備えた施設を目指した。また、環境配慮型の学校づくりを実践。雨水を夏場の体育館の屋根に散水して室温調整をしたり、植栽やトイレの洗浄水として活用するなど再利用している。

<トイレの特長>
統合前の各校のトイレは、すべて和式便器で湿式清掃を採用していたが、明桜中学校では洋式便器を中心としたことで、清掃方法も乾式清掃を採用している。また、さまざまな身体状況の方の利用を想定し、オストメイト対応トイレバックやベビーチェアなどを完備した多機能トイレを2ヶ所設置。さらに、車いす利用者も利用できる、広めの大便器ブースを各階に1ヶ所設置している。